



川内原発の再稼働許さないと抗議する人たち—31日、首相官邸前

2/1
旗

川内原発を動かすな

官邸前行動 声を政府に突きつける



首相官邸にむかってコールする（左から）藤野、笠井両衆院議員と吉良参院議員—31日

10日にも川内（せんだい）原発（鹿児島県薩摩川内市）の再稼働が狙われるなか、首都圏反原発連合（反原連）は7月31日、毎週金曜日の首相官邸前抗議行動を行いました。「川内原発を動かすな」などのプラカードを手にした3800人（主催者発表）の参加者は、「原発やめろ」

「安倍（首相）もやめろ」などとコールしました。神奈川県座間市の小林恵（けい）さん（66）は「川内原発の再稼働が差し迫っているので、久しぶりに来ました。ここではっきり『ノー』の声を政府に突きつけ、再稼働を止めたい」といいます。東京都世田谷区の川

本嘉子さん（66）は「川内原発の再稼働など言語道断です。東京電力福島第1原発事故のよ

うな事故が起きたらどうするのか。無責任すぎます」。東京都大田区の本間良さん（61）は「声を出して止めなくてはと、思ってきました。川内原発を再稼働するなんて民意無視もはなはだしい」と憤ります。日本に住んで28年というドイツ人のクラウ

ス・シルヒトマンさんは「ドイツは福島原発事故を教訓に脱原発を決めました。日本も原発はきっぱりやめるべきです」と語りました。日本共産党から笠井亮、藤野保史の両衆院議員、吉良よし子参院議員が参加し、スピーチしました。